



Cisco Vision Dynamic Signage Director のインストールまたはアップグレードの 開始

Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアの新規インストールまたはアップグレードを実行する前に、このモジュールを読んでください。この章は、次の項で構成されています。

- [はじめる前に\(11 ページ\)](#)
- [ハードウェアの前提条件\(12 ページ\)](#)
- [インストールおよびアップグレード プロセスの概要\(16 ページ\)](#)

はじめる前に

重要:すべての参照コンテンツを読み、準備を整えてください。[インストール作業\(20 ページ\)](#)に示されている手順のみを使用してください。そのようにしないと、インストールが適切に機能しません。

のインストールまたはアップグレードを開始する前に、次の要件について理解し、これらを満たしていることを確認します。Cisco Vision Dynamic Signage Director software:

- ソフトウェア リリースのハードウェアおよびソフトウェア要件、変更、重要事項、および警告の最新情報については、[『Release Notes for Cisco Vision Dynamic Signage Director Release 6.4』](#)を参照してください。
- 互換性のあるメディア プレーヤー モデルとファームウェア バージョンが利用可能かどうかを確認します。
メディア プレーヤー ファームウェア イメージは、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアとバンドルされていません。ファームウェア イメージは個別にダウンロードします。サポートされているファームウェア バージョンの詳細については、[『Release Notes for Cisco Vision Dynamic Signage Director, Release 6.4』](#)を参照してください。
- Cisco Vision Dynamic Signage Director にアクセスするために、サポートされているブラウザがインストールされていることを確認します。[『Cisco Vision Content Planning and Specifications Guide, Release 6.4』](#)を参照してください。
- Cisco Integrated Management Controller(CIMC)サーバでソフトウェアをインストールするために Cisco Integrated Management Controller(CIMC)にアクセスするには、[こちら](#)でドキュメントを参照してください。
 - コンピュータが Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小ブラウザ要件および最小フラッシュ プレーヤー要件を満たしている。また、Java 1.6 移行もインストールされている。最小フラッシュ バージョンは 22.0.0.209 です (Mac OS と Windows の両方に適用)。
 - Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバ ネットワークにアクセスできるラップトップ接続がある。
 - Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの CIMC インターフェイスの IP アドレスを把握している。
 - CIMC インターフェイスのログイン クレデンシャルがある。デフォルトのクレデンシャルは **admin** と **password** です。

ハードウェアの前提条件

注: インストール シェルが誤って閉じられた場合やネットワークがドロップした場合に、中断したインストール プロセスからリカバリすることは困難です。アップグレード中にセッションが中断してもアップグレードの完了が妨げられないように、サーバ コンソール接続方式の使用を強く推奨します。また、Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバに直接接続されているモニタおよびキーボードを使用して、TUI にログインすることもできます。

KVM コンソールおよび CIMC インターフェイスの詳細については、ご使用のサーバに対応する Cisco UCS C シリーズ 統合管理コントローラの設定ガイドを参照してください (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-integrated-management-controller/products-installation-and-configuration-guides-list.html> [英語])。

- インストール環境にアクセスします。詳細およびこのガイド内で実行する必要があるモジュールについては、[インストールおよびアップグレード プロセスの概要 \(16 ページ\)](#)を参照してください。

ハードウェアの前提条件

独自の仮想マシンにリリース 6.4 をインストールして、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアを実行できます。仮想環境が最小およびテスト済みの仕様を満たすよう、このセクションの要件に従ってください。

Cisco Vision Director には、次の 4 つのサーバプロファイル導入オプションがあります。

- 最小
- 小
- 標準
- 大規模

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- [Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小仮想マシン システム要件 \(12 ページ\)](#)
- [Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン \(16 ページ\)](#)
- [仮想マシンのサポートの制約事項 \(16 ページ\)](#)

Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小仮想マシン システム要件

設定が最小システム要件を満たしていることを確認します。このセクションでは、各導入サイズの最小要件について詳しく説明します。

ミニスケールサーバの導入

ミニスケールの導入では、設定が、[表 1 \(13 ページ\)](#)の最小システム要件を満たし、互換性のある vSphere バージョンを備えた VMware 仮想マシン環境をサポートしていることを確認します ([Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン \(16 ページ\)](#)を参照)。

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバは、連動する DMR (遠隔地のエッジなど) の近くに配置してください。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、LAN 経由でプレーヤーと通信します。

ソフトウェア ライセンスのコンプライアンスを維持するためには、次の方法で Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置する必要があります。

- データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットに Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置するか、VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールします。

ハードウェアの前提条件

表 1 ミニスケールの Cisco Vision Dynamic Signage Director を実行する仮想環境の最小システム要件

システム コンポーネント	最小要件
プロセッサ	インテル Xeon プロセッサ E5-2640 と同等のプロセッサ X 2 (15 MB のキャッシュ、1.9 GHz のクロック、7.20 GT/s の Intel® QPI)
CPU クロック速度(GHz)	1.9
CPU キャッシュ(MiB)	9
1 秒あたりの順方向の書き込み (fwrite)動作	2,500 台
ローカル接続された SSD(RAID10)	2 x 6 Gb/s
仮想 CPU ¹	6
仮想ディスクの容量	225 GB
仮想 RAM(VRAM)	8 GB ²

1. ハイパースレッディングを使用できます。これを有効にするには、BIOS が適切に設定されていることを確認します。
2. ミニスケール/小規模の Cisco Vision Dynamic Signage Director システムをインストールおよび動作させるには、8 GB 以上の VRAM を予約します。ESXi OS 用に追加のストレージを許可します。

小規模サーバの導入

小規模の導入では、設定が、[表 2 \(14 ページ \)](#) の最小システム要件を満たし、互換性のある vSphere バージョンを備えた VMware 仮想マシン環境をサポートしていることを確認します([Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン \(16 ページ \)](#) を参照)。

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバは、連動する DMP(遠隔地のエッジなど) の近くに配置してください。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、LAN 経由でプレーヤーと通信します。

ソフトウェアライセンスのコンプライアンスを維持するためには、次の方法で Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置する必要があります。

- データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットに Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置するか、VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールします。
- VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールするか、データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットにリモートサーバハードウェアを設置します。

ハードウェアの前提条件

表 2 小規模の Cisco Vision Dynamic Signage Director を実行する仮想環境の最小システム要件

システム コンポーネント	最小要件
プロセッサ	インテル Xeon プロセッサ E5-2640 と同等のプロセッサ 2 (15 MB のキャッシュ、2.50 GHz のクロック、7.20 GT/s の Intel® QPI)
CPU クロック速度 (GHz)	2.5
CPU キャッシュ (MiB)	15 ~ 19.25
1 秒あたりの順方向の書き込み (fwrite 動作)	2,500 台
ローカル接続された SSD (RAID10)	4 x 6 Gb/s
仮想 CPU ¹	6 ~ 24
仮想ディスクの容量	225 GB
仮想 RAM (VRAM)	8 GB ²

- ハイパースレッディングを使用できます。これを有効にするには、BIOS が適切に設定されていることを確認します。
- 小規模の Cisco Vision Dynamic Signage Director システムをインストールおよび動作させるには、8 GB 以上の VRAM を予約します。ESXi OS 用に追加のストレージを許可します。

標準規模サーバの導入

標準規模の導入では、設定が、[表 3 \(14 ページ\)](#) の最小システム要件を満たし、互換性のある vSphere バージョンを備えた VMware 仮想マシン環境をサポートしていることを確認します ([Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン \(16 ページ\)](#) を参照)。

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバは、連動する DMR (遠隔地のエッジなど) の近くに配置してください。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、LAN 経由でプレーヤーと通信します。

ソフトウェア ライセンスのコンプライアンスを維持するためには、次の方法で Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置する必要があります。

- データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットに Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置するか、VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールします。
- VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールするか、データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットにリモートサーバハードウェアを設置します。

表 3 標準規模の Cisco Vision Dynamic Signage Director を実行する仮想環境の最小システム要件

システム コンポーネント	最小要件
プロセッサ	インテル Xeon プロセッサ E5-2640 と同等のプロセッサ X 2 (15 MB のキャッシュ、2.50 GHz のクロック、7.20 GT/s の Intel® QPI)
CPU クロック速度 (GHz)	2.5 ~ 3.5
CPU キャッシュ (MiB)	15 ~ 19.25 (新規)
1 秒あたりの順方向の書き込み (fwrite 動作)	10,000
ローカル接続された SSD (RAID10)	6 x 12 Gb/s
仮想 CPU ¹	24
仮想ディスクの容量	900 GB
仮想 RAM (VRAM)	32 GB ²

- ハイパースレッディングを使用できます。これを有効にするには、BIOS が適切に設定されていることを確認します。
- Cisco Vision Dynamic Signage Director システムのインストールおよび動作に 32 GB 以上の VRAM を予約します。ESXi OS 用に追加のストレージを許可します。

ハードウェアの前提条件

大規模サーバの導入

大規模の導入では、設定が、表 4 (15 ページ) の最小システム要件を満たし、互換性のある vSphere バージョンを備えた VMware 仮想マシン環境をサポートしていることを確認します(Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン(16 ページ)を参照)。

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバは、連動する DMP(遠隔地のエッジなど) の近くに配置してください。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、LAN 経由でプレーヤーと通信します。

ソフトウェア ライセンスのコンプライアンスを維持するためには、次の方法で Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置する必要があります。

- データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットに Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを設置するか、VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールします。
- VMware 仮想環境をサポートする任意のハードウェアに Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールするか、データセンターまたはエンタープライズ データ クローゼットにリモートサーバハードウェアを設置します。

表 4 大規模の Cisco Vision Dynamic Signage Director を実行する仮想環境の最小システム要件

システム コンポーネント	最小要件
プロセッサ	インテル Xeon プロセッサ E5-2640 と同等のプロセッサ X 2 (15 MB のキャッシュ、2.50 GHz のクロック、7.20 GT/s の Intel® QPI)
CPU クロック速度(GHz)	3.6 以上
CPU キャッシュ(MiB)	24
1 秒あたりの順方向の書き込み (fwrite)動作	10,000
ローカル接続された SSD(RAID10)	6 x 12 Gb/s
仮想 CPU ¹	32
仮想ディスクの容量	900 GB
仮想 RAM(VRAM)	60 GB ²

1. ハイパースレッディングを使用できます。これを有効にするには、BIOS が適切に設定されていることを確認します。
2. Cisco Vision Dynamic Signage Director システムのインストールおよび動作用に 32 GB 以上の VRAM を予約します。ESXi OS 用に追加のストレージを許可します。

表 5 (15 ページ) に、Cisco Vision Dynamic Signage Director をサポートするように仮想マシンを設定する際に使用する、テスト済みの VM ハードウェアおよび OS の仕様の詳細を示します。

表 5 Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの、仮想マシン ハードウェアおよび OS の仕様

システム コンポーネント	仕様
VM ハードウェア	バージョン 8
ゲスト オペレーティングシステム	RedHat Enterprise Linux 7(64 ビット)
ネットワーク アダプタ	E1000
SCSI コントローラ	LSI 論理並列または LSI 論理 SAS
ディスク プロビジョニング	シック

Cisco Vision Dynamic Signage Director についてテスト済みの VMware vSphere バージョン

Cisco Vision Dynamic Signage Director は VMware ESXi 6.7.0 でテスト済みです。他のバージョンも機能しますが、テストはされていません。

注: 仮想マシンを表 [5 \(15 ページ\)](#) に示されている最小要件に設定できない VMware ライセンスは、サポート対象外となります。

仮想マシンのサポートの制約事項

Cisco Vision Dynamic Signage Director の仮想マシン環境を設定する前に、次の制約事項を考慮してください。

- 仮想マシン環境を使用する場合、シスコ テクニカル サポートは Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアのサポートのみを提供します。お客様がインストールしたサードパーティ製ハードウェアまたは仮想 OS 環境はサポート対象外となります。
- 標準の Cisco Vision Dynamic Signage Director バックアップ/リストアおよびフェールオーバーツールを使用してプライマリサーバおよびバックアップサーバをサポートするデュアル仮想マシン環境を推奨します。
- シスコは、Cisco Vision Director システムで VMware ツールをテストしておらず、サポートも提供していません。Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェア以外のバックアップまたはリカバリなどのツールを使用して仮想マシンを管理する場合は、お客様がデータのセキュリティ保護に関連するリスクおよび責任を負うこととなります。

インストールおよびアップグレード プロセスの概要

ソフトウェア リリース 6.4 の Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバをインストールまたはアップグレードする際の作業内容は、現在のサーバ環境に応じて異なります。

- [初めての仮想マシンへのインストール \(16 ページ\)](#)
- [Cisco Vision Director をすでに実行している既存のサーバのアップグレード \(17 ページ\)](#)

初めての仮想マシンへのインストール

Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアを実行している仮想マシンの新規インストールプロセスには、次の作業が含まれています。

- 仮想マシンが [Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小仮想マシン システム要件 \(12 ページ\)](#) に示された要件を満たしていることを確認します。
- [表 5 \(15 ページ\)](#) に示された Cisco Vision Dynamic Signage Director によってテストされた仕様に従って、仮想マシンの仕様を設定します。
- VMware クライアント ソフトウェアをインストールします。

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director は VMware ESXi 6.7.0 でテスト済みです。他のバージョンはテストされていません。

仮想マシンを [Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小仮想マシン システム要件 \(12 ページ\)](#) に示されている最小要件に設定できない VMware ライセンスは、サポートされません。

- Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアの完全な ISO をロードします。
- インストールを実行します。
- メディア プレーヤーのファームウェアをアップグレードします。

詳細については、[Cisco Vision Dynamic Signage Director の新規インストール \(19 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco Vision Director をすでに実行している既存のサーバのアップグレード

注: 更新元となるリリースの最新の[リリースノート](#)を必ず確認してください。リリースノートでは、アップグレードパスとサービスパックに関して常に最新の情報を入手できます。

Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 6.3 からのアップグレード

リリース 6.4 にアップグレードする唯一の方法は、リリース 6.3 の最新リリースからアップグレードすることです。以前のリリースの[リリースノート](#)を参照して、すべてのアップグレードが順番どおりに完了していることを確認します。既存の Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 6.3 システムからのアップグレード プロセスには、次の作業が含まれています。

- Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアのアップグレード
- デジタル メディア プレーヤー ファームウェアのアップグレード

[Cisco Vision Director ソフトウェア、言語パック、およびフォントのアップグレード\(23 ページ\)](#)および [DMP ファームウェアのアップグレード\(39 ページ\)](#)を参照してください。

インストールを完了し、リリース 6.4 をインストールする準備が整うまで、これらのプロセスを繰り返します。[Cisco Vision Director ソフトウェア、言語パック、およびフォントのアップグレード\(23 ページ\)](#)および [DMP ファームウェアのアップグレード\(39 ページ\)](#)を参照してください。

インストールおよびアップグレード プロセスの概要